

令和6年度 第1回江別市まち・ひと・しごと創生有識者会議 会議録（要点筆記）

日 時：令和6年5月15日（水）午前10時から午前10時40分まで

場 所：江別市民会館2階21号室

出席委員：田口智子座長、伊藤留美子委員、布施望委員、福沢康弘委員、古市俊章委員、
斎藤史朗委員、佐々木尚弘委員、腰原久郎委員、佐藤裕則委員
（計9名）

オブザーバー：矢野敦子石狩振興局地域創生部長

欠席者：龍田昌樹座長代理、粕谷堅一郎委員、小西祐哉委員

事務局：三上企画政策部長、伊藤企画政策部次長、但馬政策推進課参事、北島主査、
眞鍋主査

傍聴者：なし

会議概要

1 開会

2 議事（1）次期総合戦略の策定スケジュール（案）について、事務局説明

○田口座長

前回開催した会議において確認したスケジュールの詳細ということだが、1点お伺いする。

予定している市民ワークショップの開催と新しい会議体の公募委員の募集は、互いに連動しているものか、それとも別個のものとして別々に募集するものか。

○事務局

市民ワークショップの開催と新しい会議体の公募委員の募集とは別に行うものである。

議事（2）江別市まち・ひと・しごと創生有識者会議について、事務局説明

○田口座長

従前から協議を進めてきた本有識者会議の今後の在り方について、前回の会議で確認したとおり、次期の総合戦略の策定に当たっては、公募委員を含めることや国のデジタル田園都市国家構想総合戦略を踏まえることなどから、本有識者会議と江別市未来型政策検討委員会を発展的に解散して、新たな会議体を設置したいということだが、各委員から、質問や確認事項はないか。

○布施委員

新しい会議体の設置については了承するが、各団体における委員選出等、調整はどのように行われるのか。

○事務局

現在、新しい会議体の設置要綱を準備しているところであるが、委員の選出を依頼する団体に対し推薦依頼を行い、団体内から被推薦者を選出いただくことを想定している。

○佐藤委員

公募委員について、どのような方法で募集する予定か。

○事務局

現時点では、公募委員は2名の募集を予定しており、多様なご意見を頂戴するため、18歳以上39歳以下と40歳以上の枠を設定して募集したいと考えている。

また、応募者多数の場合には、公開抽選により委員を選出する予定である。

○佐藤委員

年齢枠について、承知した。

続けて、公募委員について、女性の登用について検討しているか。

○事務局

江別市では、江別市男女共同参画を推進するための条例で、男女のいずれか一方が委員の総数の4割未満とならないよう努めるものと規定しており、女性委員の構成比に留意しているところではあるが、公募委員の選出に当たっては、男女で区別することなく選出することを予定している。

○田口座長

この件について、他に確認事項等はないか。

【各委員：確認事項等なし】

○田口座長

それでは、本有識者会議の任期は、本年12月25日までであるが、本日の会議を最終回とし、次期総合戦略の策定等については新しい会議体にて協議、検討していくということによろしいか。

【各委員：了承】

○田口座長

各委員の了承により、本有識者会議は今回を最終回とする。

市においては、これまでの本有識者会議での議論や提案内容等について、新しい会議体でも大いに生かしていただくよう希望する。

3 その他（1）令和6年・地方自治体「持続可能性」分析レポートについて、事務局説明【質疑なし】

その他（2）その他

○田口座長

本日が、本有識者会議の最終回となる。

私からの提案として、最後に各委員からご挨拶をいただきたいと思うが、よろしいか。

【各委員：了承】

○伊藤委員（江別市男女共同参画推進連絡協議会）

2期5年に渡り、各委員にはお世話になり感謝する。

この間、江別市は年少人口の転入超過数が6年連続で全国20位以内となるなど、地方創生の取組が成果を結んでいると認識しており、先日も市内小学校の入学児童数が増加したという嬉しい報道があったところである。

江別市では、大麻地区、野幌地区、江別地区と地域性が分かれているが、市には今後、江別地区、特にJR江別駅前の賑わいを取り戻す取組に期待したい。

○布施委員（道央農業協同組合）

私は、農業の分野から当有識者会議と江別市未来型政策検討委員会の両方に所属し、議論に参加してきた。今後の新しい会議体でも、市から道央農業協同組合にお声がかかるのであれば、引き続き協力したいと思う。

○福沢委員（北海道情報大学）

私は、当有識者会議の座長を務めていた本学の前学長から委員を引き継いで、これまで議論に参加してきたが、大変勉強させていただいたと感謝している。

江別市の人口動態という観点から、最近ではパキスタンの国籍の方が増えているという報道があるが、本学でも地元の高校を卒業したパキスタン国籍の生徒が入学している。

これからの人口減少対策等として、外国籍の方との共存・共生も必要になると考えている。

○古市委員（北海道江別高校）

本校では、普通科、事務情報科、そして生活デザイン科の複数の学科を持つ高校であり、地域の将来を担う人材の育成を目的としているところである。

特に、地域から外部講師を招いた授業、生徒が地域に出向いて学ぶ授業や高校大学連携などを非常に大切にしており、江別市の将来を担う職業人の育成を図っていきたいと考えている。

前任の校長から有識者会議委員を引き継ぎ、2年間の期間であったが、多くの方とつながることができたことに感謝し、学校に持ち帰って共有してまいりたい。

○斎藤委員（札幌東公共職業安定所江別出張所）

私は、昨年4月にハローワーク江別に異動により着任し、本会議には3回参加させていただいた。これまで、労働分野に特化した会議には参加してきたが、地方創生、まちづくり全般という広い視野に立った会議には初めての参加であり、感謝している。

現在、ハローワーク江別では、江別市と連携しながら、子育てと両立した就労の取組や生活保護受給者の就労支援等を進めているところであり、今後も市と協力して江別市の発展に関わってまいりたい。

個人としては、今後も異動により江別市以外の勤務先になることがあると思うが、江別市の発展を見守っていききたい。

○佐々木委員（北洋銀行江別中央支店）

私は、昨年の7月の異動により江別市に赴任しており、1年弱の参加ではあるが、会議の議論は大変参考になったところである。

千歳市のラピダスや北広島市のボールパーク、石狩湾の洋上風力発電やデータセンターなどの話題性があるものが周辺自治体に増えてきており、金融機関としても江別市を盛り上げていくことについて、お役に立ちたいと考えているので、引き続き協力していきたい。

○腰原委員（北海道銀行野幌支店）

私が江別市に着任して、4年9か月になるが、この間、有識者会議の委員として議論に参加させていただき、貴重な経験をさせていただいた。

今後も機会があれば、江別市のお役に立ちたいと考えるが、先ほど佐々木委員がお話しされたように、周辺自治体の盛り上がり比べて、江別市には、まだ主だったところがないのではないかという思いもある。江別市にも、賑わいをもたらす施設や人口を増やすための施設などの話題性が高く、訴求性のあるものを、何らかの形で誘致できればいいと考えているので、そのようなお手伝いができれば良いと考えている。

○佐藤委員（北海道新聞社）

私が担当している札幌支社は、石狩管内を担当しており、新しいビジネスや革新につながることはないかと、自治体や企業等の取材をしている。

先ほど、佐々木委員と腰原委員のお話にも、江別市は周辺自治体に比べて、目玉となるものがないことが挙げられていたが、そのようなものが無いにも関わらず、年少人口の転入増が続いているということは、江別市が非常に手堅く、魅力があるまちなのだろうと思う。

私は、東京都に10年ほど勤務していたことがあるが、東京都も特別区の周辺の都市が充実しないと、東京都自体が盛り上がらない、活性化できないと感じていたので、江別市も周辺自治体と共に発展していくことは重要だと考える。

新聞社としても、発行部数の減少等に伴い、広告や新聞発行だけではなく、様々な社会課題の解決に対して協力していかなければならないと考えているので、お声掛けいただければ、ご相談に乗りたい。

○田口座長（北翔大学短期大学部）

各委員からご挨拶いただき、感謝する。

この有識者会議が、文字どおり様々な分野の有識者からなる委員で構成され、地方創生の取組が会議の題材として取り上げられる中で、多くのことを学ばせていただいた。

私は、10年近くにわたって、江別市の地方創生の取組に携わってきたが、江別市が今後も、産学公民が連携しながら、子育て支援をはじめとした住みやすさの向上に努めていただくことを期待したい。

そのためには、この江別市の住みやすさを、具体的に文言化したり、数値化したりする

ことで、江別市に住む方や江別市に住もうとする方が、より江別市を理解しやすくなる取組を進めることが重要ではないかと考える。

また、市内の4大学の学生たちが卒業後も江別市に残りたいと思うことや、就業先として江別市を選んでもらうために、市内の経済界の方々が、新たな人材を雇用できる仕組みを作られることを期待したい。

先ほどから話題に上がっている、千歳市のラピダスや北広島市のボールパークなど、大きな話題性のある施設との連携も必要ではあるが、まちづくりは様々な年代、様々な立場の方が小さな取組を積み重ね、そして連携しながら大きくなっていくことで、形づくられていくものと考えてるので、今後の江別市の取組に大きく期待したいと思う。

これまで、本有識者会議の運営にあたって、各委員と市の協力をいただいたことに、深く感謝申し上げます。

4 閉会